

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイバア和泉分工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府和泉市あゆみ野3丁目2-8の	構造	S造
用途地域	準工業、法22条	平均居住人員	55 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2018年12月11日
敷地面積	9,142 m ²	作成者	高松建設株式会社 嶋村邦彦
建築面積	2,271 m ²	確認日	2018年12月11日
延床面積	2,889 m ²	確認者	高松建設株式会社 嶋村邦彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>82%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	82%	③上記+②以外の	82%	④上記+	82%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	82%									
③上記+②以外の	82%									
④上記+	82%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大阪府の自生種をはじめ、敷地の中に出る限りの植栽をし生物資源の保護に努めている</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>トップライトの採用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い部材を採用している</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外構緑化指数=20%以上</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI=0.64、BEI=0.75</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器具の採用により水資源の保護に配慮している</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂排出率=82%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	ダイバア和泉分工場新築工事
	建設地	大阪府和泉市あゆみ野3丁目2-8の一部、2-9、2-10
	用途/区分	事務所 工場

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	----

①	CO2削減		4
---	-------	--	---

②	みどり・ヒート アイランド対策		3
---	--------------------	--	---

③	建物の断熱性		5
---	--------	--	---

④	エネルギー削減		4
---	---------	--	---

⑤	自然エネルギー直接利用		—
---	-------------	--	---

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告		報告しない
-------------	--	-------

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.5	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—

エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
------------------	----------------------	---------------	-------

【その他】

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		